

【大学院】

(1) 工学研究科修士課程

機械工学専攻

[教育課程編成・実施の方針]

- ・機械工学の専門知識を得るため、機械4力学（材料力学、流体力学、熱力学、機械力学）、および設計工学、生産工学、エネルギー工学、材料工学、環境工学、制御工学、メカトロニクス工学の各分野の講義から所定の科目を修得する。
- ・特別研究および特論・演習により機械工学に関する課題を発見し、新しい技術の調査研究を行い、問題解決策を考え実践する能力を身につける。
- ・修士論文の作成および研究成果の学内外での発表を通じ、論理的思考能力を養うとともに、文章作成と口頭発表による表現能力を培う。

電気・電子工学専攻

[教育課程編成・実施の方針]

- ・電気電子工学の専門知識を得るため、電気エネルギー分野、コンピュータ制御分野、電子材料・デバイス分野の講義と演習から所定の科目を修得する。これらは、学部教育のつながりを重視し、学部で修得した幅広い知識の強化と応用を目指す。
- ・各分野の特別演習と特別研究は、特に専門とする領域の課題に対して、問題解決能力と創造性を育成する。
- ・修士論文の作成と発表を通じ、論理的思考能力を養うとともに、文章及びプレゼンテーションといった表現能力を培う。

建築学専攻

[教育課程編成・実施の方針]

学位授与方針の達成のため、論理的思考力、創造力、自発性、実践能力の開発を重視し、以下の科目を配置する。

- ・工学分野を取り巻く社会環境の幅広い理解のための全研究科共通科目および語学演習科目
- ・建築およびインテリアデザイン分野の先進的技術と理論を学修する専攻科目（特論）
- ・建築およびインテリアデザイン分野の先進的技術と理論を実践的に応用する演習科目
- ・セミナー形式等による修士論文作成のための学修・研究科目
- ・建築生産活動の先端的現場における実践方法を修得する学外実習科目

都市環境デザイン学専攻

[教育課程編成・実施の方針]

- ・基礎となる学部からの教育の継続性・関係を重視して、都市環境の多様化に積極的に対応できるように、専門性が高く、社会の発展に寄与できる教育・研究を、2コース制により遂行する。
- ・土木・環境コースでは、持続的発展可能な社会基盤を創造していくために必要な構造工学、地盤工学、水・環境工学、都市・交通計画学等の分野に関する科目を配置し、横断的な教育を行う。
- ・かおりデザインコースでは、におい・かおりを考慮した快適な住環境を創造していくために必要な測定、成分分析、心身への影響等に関する科目を配置し、におい・かおり環境の調査分析手法を主とした教育を行う。
- ・講義部類（共通科目および各コース科目）、演習部類（共通科目および各コース科目）、研究部類から、部類ならびにコースごとに所定の科目修得を図る。
- ・研究部類の特別研究は、特に専門とする領域の課題に対して、問題解決能力と創造性を育成する。
- ・修士論文の作成・発表を通して、論理的思考能力および文章、口頭発表による表現能力を養成する。

(2) 工学研究科博士後期課程

材料・環境工学専攻

[教育課程編成・実施の方針]

博士後期課程材料・環境工学専攻では、大学院工学研究科の教育理念・目標をもとに、「機能材料工学」、「電子デバイス工学」、「熱プロセス工学」、「環境材料工学」、「電磁・環境工学」、「環境デザイン工学」の6学科目を設けて、以下の教育課程編成と実施の方針を定めている。

- ・材料・環境工学の高度な専門知識を有し、未知の分野を開拓しうる能力を育成できるように、特論、輪講を設けている。
- ・幅広い基礎知識と視野を有し、課題を総合的に理解し追求する能力を育成するために、特別講義を全学科目の分野にわたって行う。
- ・産業界において技術をリードできる高級な技術を養成するために、学外研修と特別調査演習を設けている。
- ・特別研究および論文作成を通じて、創造性豊かな個性を有し、主体的にかつ柔軟に行動する能力を養成する。

(3) 情報学研究科修士課程

情報学専攻

[教育課程編成・実施の方針]

学位授与の方針に従って、論理的思考能力、チャレンジ精神、広い視野と豊かな人間性を身につけさせることを念頭に、以下の科目を配置する。

- ・特論として、情報システム・情報デザイン・経営情報の各コースに特化した専門的講義科目を、各コースに共通となる専門的講義科目を開設する。
- ・特別演習と特別研究では、専門領域における課題を発見し、それに対する解決策を見出し、実践していくことを通して、創造的な問題解決能力の養成を目的とする。
- ・修士論文の作成・発表を通して、論理的思考能力を養うとともに、文章作成とプレゼンテーションに係る表現能力を修得する。